

静岡への メッセージ

Message to
SHIZUOKA

法政大学大学院政策創造研究科教授

坂本光司氏

Koji Sakamoto



経歴

1947年、静岡県焼津市（旧大井川町）生まれ。法政大学経営学部卒業。浜松大学教授、静岡文化芸術大学教授等を経て、現在、法政大学大学院政策創造研究科教授、同大学院静岡サテライトキャンパス長。経済産業省や静岡県をはじめ、国・県・市等の審議会の会長等公職多数。

景気超越型企業を目指せ。

静岡市内企業も同様であるが、今や、わが国企業の約70%は赤字経営に陥っている。こうした原因は、長らく続いている不況や、深刻な不況をもたらした政府の政策にある、とする経営者が、静岡市内にも多い。しかしながら、こうした問題の所在の認識は、経営者の誤解・錯覚・甘えと言わざるを得ない。

と言うのは、本来、企業の景気は外部から与えられるのではなく、自社の価値ある市場創造努力により、もたらされるものであるし、また全国各地の企業を訪問調査していると、この時期においても、不況の「不」の字も無い「元気な企業」が多数存在していることが分かるからである。しかも、それら企業が、どんな業

種でも、またどんな規模でも、さらには、どんなロケーションにでも存在しているという事実がこれを明確に示している。

例えば、北海道（帯広市）のお菓子メーカー「柳月」は、「家族団欒の足しになるお菓子を創る：」を基本理念に、成長発展を続け、既に54年連続増収増益である。

また、宮城県（仙台市）の食品スーパー「さいち」は、仙台市内から遠く離れた秋保温泉の一角にありながら、既に20年以上、その売上高は右肩上がりである。ちなみに当社の自慢の「おはぎ」の一日の売上個数は、平均5千個以上で、しかも、はるばる東京圏からもやって来る顧客も多い。